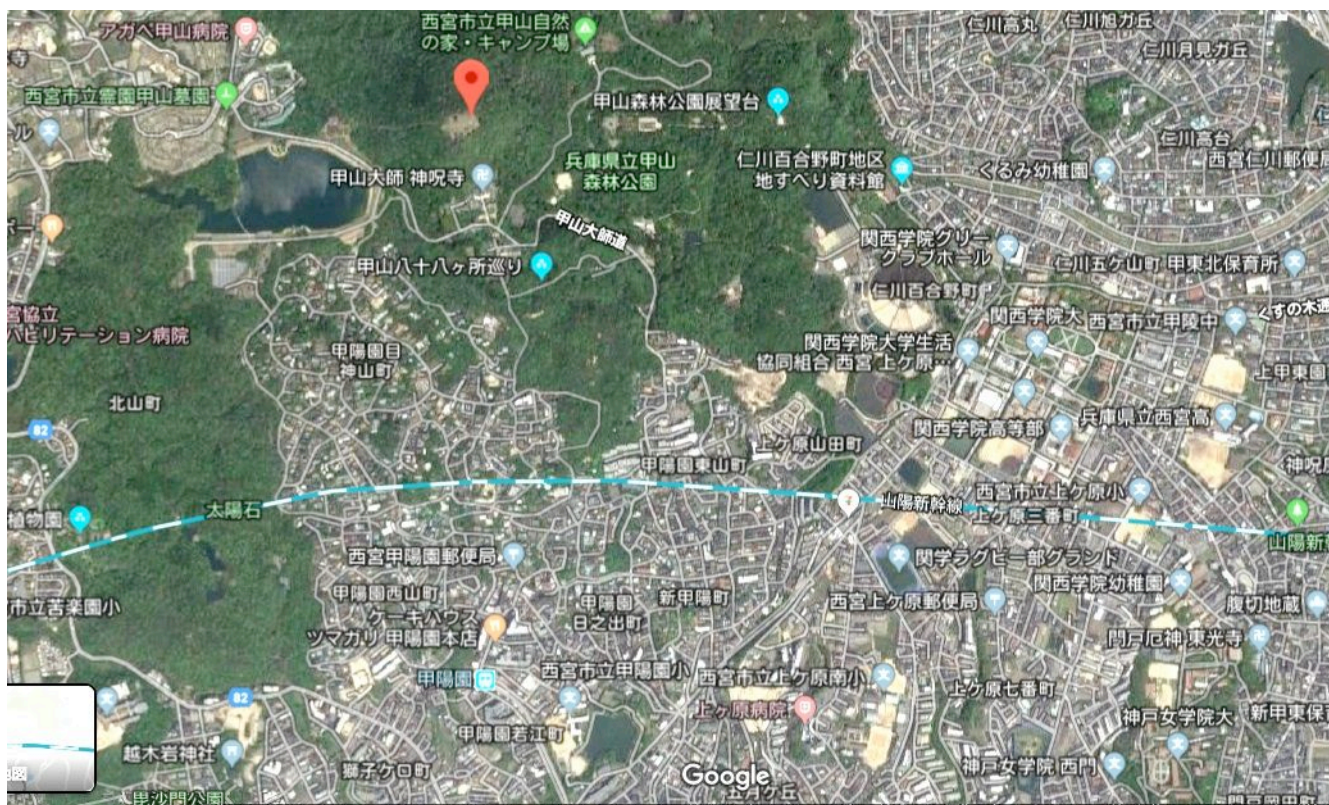


樹木と街 大阪の森を探訪 レポート

主催 日本建築家協会 大阪建築部会

第9回 甲山森林公園の森を探訪



講師 吉村元男（風景造園家、野生のランドスケープデザイナー）
日時 2019年10月26日（土曜日）13時30分から17時（探訪）
場所 甲陽園から、甲山森林公園、甲山大師（神呪寺）

樹木と街分科会 今までの企画を振り返る

大阪の森について（大阪の都市の緑は東京に比べて少ないか？）

過去の探訪を振り返ってみます。

- 2016年1、万博公園の森（未来都市は森だった）
 - 2、新梅田シティの森（都市の中心に鎮守の森）
 - 3、上町台地の森（都市の段差には森があった）
 - 2017年4、大川から大阪城外濠の森（河川敷に連続する森、大阪城の歴史の森）、
 - 5、千里ニュータウンの森（周辺緑地帯が都市の廻りを囲む、既存集落も内包）
 - 6、万博公園の森2（自然文化園はイメージの中に存在する完全な自然の森だった）
 - 2018年7、万博公園の森3（万博跡地がいかんにして森に変わったか）

吉村元男氏の本「大阪万博が日本の都市を変えた」民族学博物館にて講義
 - 2019年8、西宮神社（えべっさん）の森（都市の中の鎮守の森）、夙川河川敷公園の森
 - 9、甲山森林公園の森（大阪には自然の山があった）都市住民が近くの山を楽しむ
- 大阪には地形や歴史や新たに作られ誕生した豊かな森が残っています。 塚口

甲山森林公園の森探訪 案内文より「今回は住宅地のすぐ近くにある自然の森を探訪してみたいと思います。日本の都市イメージに欠かせない原初的な風景をもう一度体験しましょう。まちの人々にとって身近な風景、建築は思い出として、ゆたかな生活に大切なものです。」